

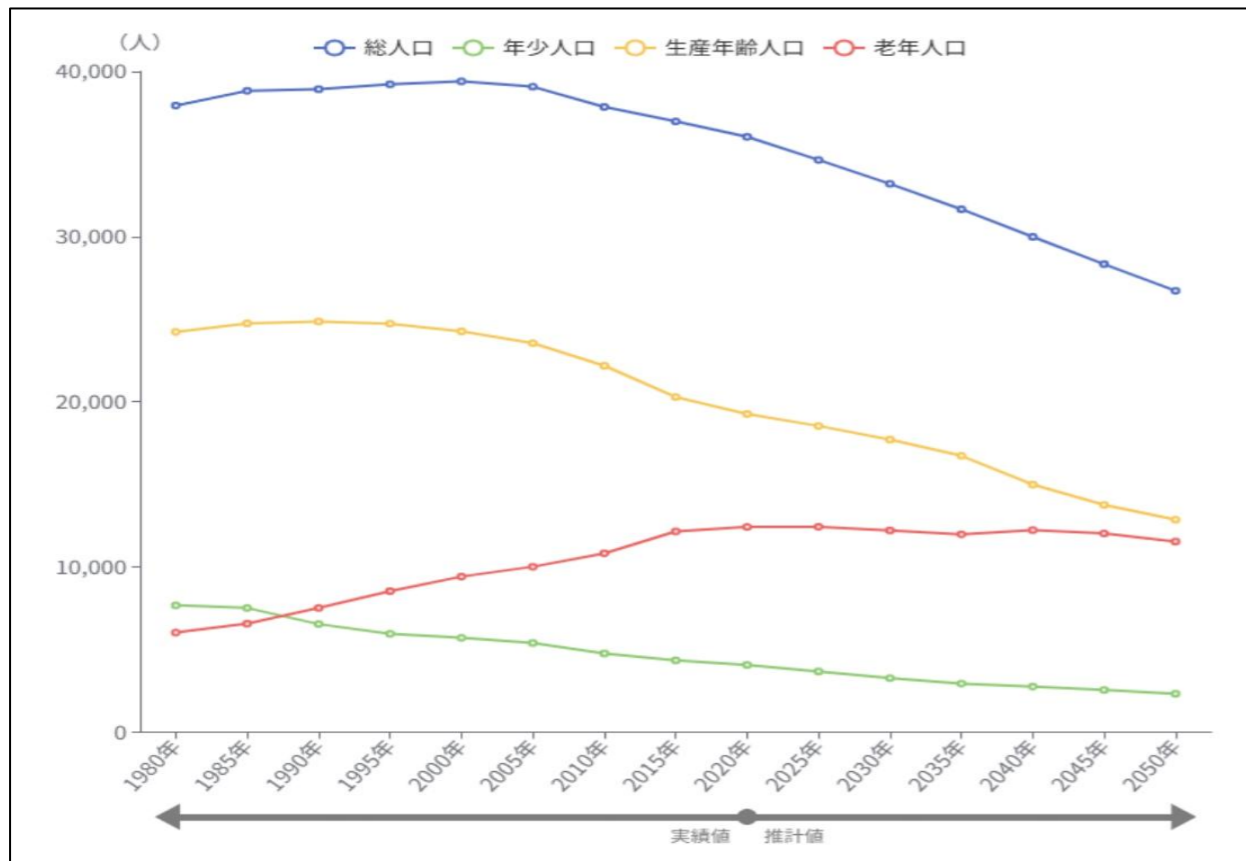
瀬戸内市商工会管内経済動向

1. 地域の人口動態

最新の RESAS の情報によると、瀬戸内市の総人口は 2020 年と比べ 30 年後の 2050 年には人口は約 25%減少し約 26000 人になると予想されています。特に年少人口（0 歳～14 歳）の減少率が 43%と最も大きくなっています。少子高齢化が急激に進む事で、従業員の確保や顧客の獲得が難しくなるなど、経済活動への影響が現れる可能性が高いと思われま

■瀬戸内市の人口の推移

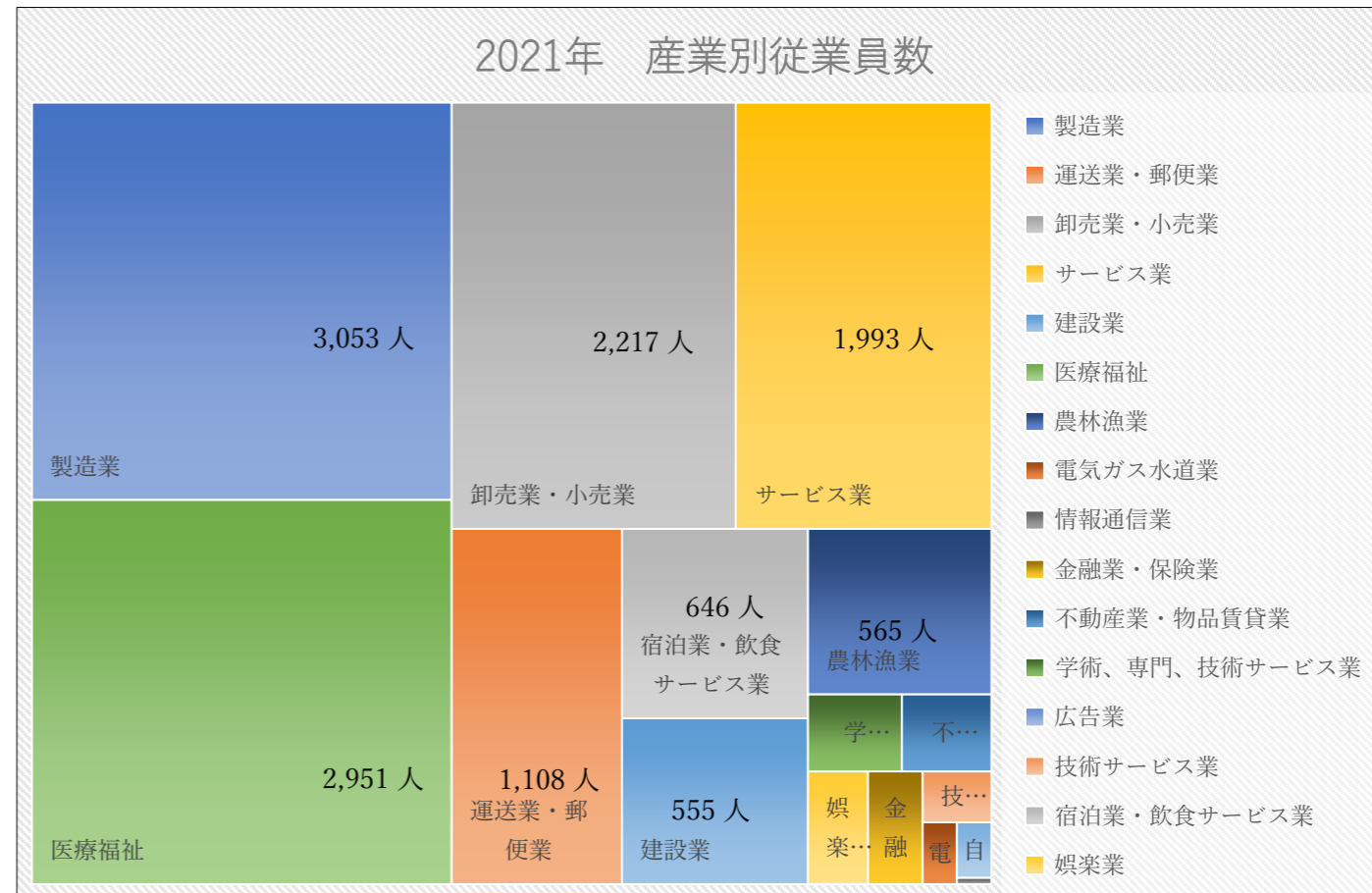
① 将来の人口増減					
	2020年	→	2050年	増減数	増減率
総人口	36,048人	→	26,719人	-9,329人	-25.9%
年少人口	4,071人	→	2,319人	-1,752人	-43.0%
生産年齢人口	19,264人	→	12,864人	-6,400人	-33.2%
老年人口	12,422人	→	11,536人	-886人	-7.1%



【出典】RESAS 地域ビジネス環境分析より

2. 地域の経済動向

従業員数は、製造業が最も多く、次いで、医療福祉、卸売業・小売業となっています。労働生産性では特に製造業に存在感があります。なお、前回の調査ではサービス業に従事する従業員数が2番目に多かったが、今回の調査結果では4位となっている。



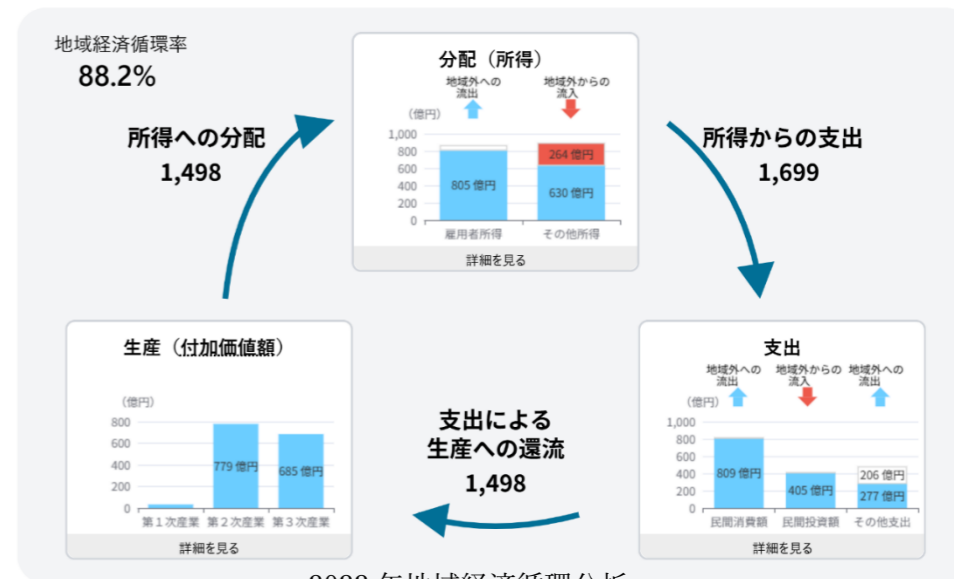
出典：政府統計の総合窓口 e-Stat より一部加工・・・全産業従業員数 18,618 人

【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

3. 瀬戸内市商工会管内の経済的特徴

本市は中長期的な人口減少が予測されるものの、その減少幅は限定的であり、人口の社会増の状況にある総じて安定した人口を有しています。このことから生活しやすく、住みやすい街であるといえます。

地域経済循環率（地域経済の自立度：生産（付加価値額）÷分配）は 88.2%です。（前回の調査は 86.5%）このことは、地域内の所得は地域内で得られる生産（付加価値額）だけでは賅うことができず、地域外からの流入に対する依存度がやや増していることを意味しています。



2022 年地域経済循環分析

【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」

(株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成)